

北栄町公共施設個別施設計画(第1期) 概要版

令和3年3月

計画の背景と目的

人口減少・少子高齢化が加速する中、限られた財源で町民ニーズに対応した公共サービスを将来にわたって提供するため、公共施設の計画的な運営の基本方針を示した「北栄町公共施設等総合管理計画」(総合管理計画)を策定しました。

「北栄町公共施設個別施設計画」(個別施設計画)は、総合管理計画に定めた方針と気候非常事態宣言に基づき全町でのゼロカーボン(人為起源のCO₂の実質排出ゼロ)をめざして、個別施設ごとの方向性を検討し、持続可能で効率的な管理運営を行うため策定しました。

総合管理計画の概要

- ・町全体としては延床面積ベースで40%削減
- ・比較的新しい施設は、統廃合や複合化の受け皿となる施設として活用
- ・今後の使用見込みのない施設は、譲渡や廃止等を推進

本計画の期間

本計画は、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間を計画期間とします。

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	...	2030	...	2054	2055	2056			
	H28	29	30	R1	2	3	4	5	...	12	...	36	37	38			
総合管理計画	策定																
個別施設計画					策定												

本計画の対象施設

総合管理計画に位置付けられた全ての公共施設(公共建築物)です。本計画では、これらの中でエネルギー使用量が大きな施設についてエネルギー使用量(CO₂を排出)の視点から施設のあり方を検討し、また、特にエネルギー使用量が大きな施設については、施設の老朽化や利用状況を確認し、エネルギー効率診断を行い、施設の改修効果を測定しました。

本計画の見直し対象施設(エネルギー使用量が大きな施設)

公共施設の老朽化と人口減少を勘案し、施設の統廃合を含めた見直し検討が必要な施設、大規模改修・省エネ改修を行いながら 2060 年まで維持する施設※1 を抽出しました。見直し検討、改修検討は段階的に次のとおり計画します。

年代	2020 年代	2030 年代	2040 年代	2050 年代
見直し検討が必要な施設	中央公民館大栄分館 大谷こども園 大誠体育館 勤労者体育センター	中央公民館 北条農村環境改善センター 北条健康福祉センター 旧北条庁舎 大栄小学校 大栄中学校	民芸実習館 北条体育館 大栄体育館 大誠こども園 由良こども園	北条こども園(旧部分)
2060 年まで維持する施設※1 大規模改修・省エネ改修の検討年代別に記載	北条小学校 北条中学校 B&G 海洋センター 大栄歴史文化学習館 (青山剛昌ふるさと館) 図書館 大栄庁舎 大栄農村環境改善センター	学校給食センター 大栄健康増進センター ほくほくプラザ 大栄ふれあい会館	北栄みらい伝承館 北条ふれあい会館 (北条小学校)※2 (北条中学校)※2	北条こども園(増築部分)

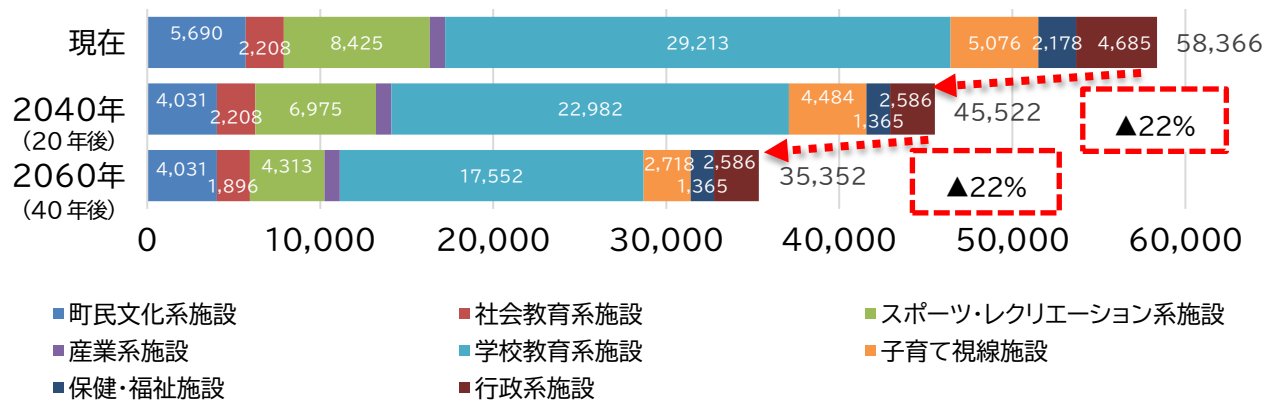
※1 維持:施設の利用目的、位置、劣化状況を総合的に検討し、2060 年まで維持管理を行う予定の施設

※2 学校施設の改修周期 20 年に基づく記載

将来構想

人口減少社会を見据え、2060 年(40 年後)における見直し対象公共施設の延床面積を次のとおり削減します。

延床面積削減計画(m²)



建物系施設の個別施設計画（実行年代が 2020 年代の施設）

1 町民文化系施設及び社会教育系施設

中央公民館大栄分館

利用状況	<p>図書館と大栄体育館のメーターと一緒にしているため、図書館の電気使用量から大栄体育館の電気使用量を差し引いた上で、図書館と床面積按分して電気使用量を算出した。</p> <p>トイレが男女兼用、授乳室が無い、エレベーターが無く高齢者が 2 階の研修室を利用することが大変等、施設用途や機能が町民のニーズに対応できていない。20 代、30 代の子育て世代の利用が少ないが、この世代が利用しやすい施設となることを望む声は多い。</p>	
客観的な分析結果	<p>施設の改善が求められるが、建物の耐震性能が低く、劣化も非常に進んでしまっている。また、2 階の床が建築基準法で定められる水平基準よりも大きく傾いており、建設時から施工に問題があった可能性も考えられる。</p> <p>公民館の機能の充実が求められているので、建て直して町民の方々が活用しやすい施設に作り変えることが好ましい。</p>	
検討方針	<p>建物、設備の老朽化が進んでおり、そのまま使い続けることは困難な状況である。中央公民館大栄分館施設のあり方検討委員会の答申を踏まえ、必要機能を確保した上で財政・利便性の向上等について考慮し、公共・民間を問わず、他施設との複合も想定して建て替え等を検討する。</p>	
実行年代	2020 年代	建て替え・複合化検討

大栄農村環境改善センター

利用状況	<p>線路が脇にある施設にもかかわらず、防音対策が出来ていないためせっかくの立派なホールも演奏会や講演会などに活用しづらいという状況がある。また、客席のシートが古く幅が狭く不満の声が多く、その点もまた利用を遠ざける要因になっている。</p> <p>大栄庁舎に北条庁舎から役場機能が統合し、職員が増え執務室が拡大したことにより、庁舎に会議室がほとんどなくなったため、こちらの会議室を利用することが多い。</p>	
客観的な分析結果	<p>建物の劣化は非常に進んでおり、継続利用を前提とするのであれば早い段階で耐震補強や劣化対策、省エネルギー化を合わせた改修を行うことが良いと考えられる。</p> <p>ホールの稼働率を上げて活用を進めるにしても現状の断熱仕様では更なるエネルギー使用量の増加になってしまうため、省エネルギー改修を行うが必須と言える。その際、現在ホールの空調に使われているガス吸収式空調機ではエネルギー効率も悪いので改修後のエネルギー性能にあった空調方式に更新することを推奨する。</p>	
検討方針	<p>【共通】…大栄庁舎・大栄農村環境改善センター</p> <p>両施設の大規模改修に併せて、ホール・会議室の配置や町民向けの貸館機能の再編を検討した上で、省エネルギー改修を実施する。再編は、近隣施設である中央公民館大栄分館とも関連させて検討する。</p> <p>【大栄農村環境改善センター】</p> <p>建物屋上の防水シートや北壁外壁の劣化が進んでいるため、早期の大規模改修実施を検討する。その際、利用目的に応じて大栄庁舎も含めた会議室の配置やホールの活用方針を明確にした上で必要な防音対策や客席部の仕様変更の計画を立て、適切な省エネルギー改修を検討する。</p>	
実行年代	2020 年代	維持（用途改修（長寿命化・省エネ改修含む））

図書館

利用状況	中央公民館大栄分館と大栄体育館のメーターと一緒にいるため、体育館の照明設備の電力使用量を差し引いた上で、図書館と床面積按分して電気使用量を算出した。 町内外から幅広い世代の利用がある。絵本の活用を進めているため、親子連れの利用も多い。また、汽車の待ち時間で利用する高校生も多くいる。2階に研修室、AV室があり講座などに利用しているが、稼働率は非常に低い。エレベーターもないため、高齢者や車椅子、ベビーカーの方には使いにくいのが現状。	
客観的な分析結果	建物は目立った劣化もなく、良い状態で管理されている。長期利用を想定して省エネルギー改修を行うことが好ましい。 省エネルギー改修を行う上で最も空調エネルギーを消費する図書室に大きな窓があるので窓の断熱、および東側開口部の日射遮蔽対策、天井空間に集まる熱の遮蔽又は循環対策が必要である。あらゆる利用者のためにエレベーター設置が求められる。 H28年度より照明をLED化したことにより実際には省エネ効果があるはずだが、電力メーターと一緒にいる他の施設との按分を行ったため、その効果が見られるようなエネルギー使用量の値になっていない。今後、各施設ごとに使用量の計測を行う必要がある。	
検討方針	建物は目立った劣化は見られず、長期利用を想定して定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、利便性向上のためのエレベーター設置や適切な時期に省エネルギー改修を行うことを検討する。その際、中央公民館大栄分館のあり方方針と合わせて計画するものとして、改修内容は主に図書室の省エネルギー化を優先に行うことを検討する。	
実行年代	2020年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

2 スポーツ・レクリエーション系施設

検討方針【共通】…大誠体育館・勤労者体育センター・北条体育館・大栄体育館・大栄ふれあい会館・北条ふれあい会館・B&G海洋センター

利用の時間帯をずらしたり、複数グループで合同利用したりなどの使い方の工夫と小中学校の体育館活用などを検討し、効率的な利用をめざす。今後の人口、利用者数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。

大誠体育館

利用状況	年間を通じて300～500人/月の利用者数で、夜間利用は90%近くの稼働率だが、日中は月に5日後の利用に留まっている。夜間の稼働率は高いが、各時間帯(午前、午後、夜間)における平均利用人数は10人程と大栄エリア内で最も少ない。 電気使用量はH28年度3月～H29年度10月のデータが欠けている。	
客観的な分析結果	また、建物の経過年数が55年と調査対象施設の中で最も古く、木造であることもあり劣化も進んでいるため、このままの状態でも長く使い続けることは安全面において推奨できない。この施設を廃止した場合、アクセスのし易さから利用されている方が将来他の体育館を利用しやすくする等の支援が求められる。	
検討方針	築年数が古く劣化も進んでいるため、このままの状態での長期利用は行わず、大きな不具合が生じた時点で廃止し、その後の解体、跡地の活用についても検討する。	
実行年代	2020年代可能な限り早期	廃止検討

勤労者体育センター

利用状況	日中の利用はほとんどなく、大栄小学校の体育館に近接しているため、一般利用の夜間稼働率も低い。大栄中学校の生徒の利用もあり合計利用者数は多い。	
客観的な分析結果	近くに大栄小学校と大栄中学校の体育館、徒歩 10 分のところに大栄体育館もあるため、一般利用者は分散している。 利用者の減少を想定して、他の体育館の利用を促し閉鎖することを推奨するが、維持管理コストは 50 万円以下のレベルなので、もし大栄小学校を閉鎖・移転を想定する中で一時的に活用していく可能性もある。	
検討方針	築年数の割に劣化が進んでいるため、このままの状態での長期利用は行わず、大きな不具合が生じた時点で廃止し、その後の解体、跡地の活用についても検討する。	
実行年代	2020 年代可能な限り早期	廃止検討

B&G海洋センター

利用状況	アリーナ以外にトレーニングルームやプール、ミーティングルームもあるため日中の利用者が多い。隣接する自治体からの利用者も多い。夜間稼働率は 97%と高い。 現状、アリーナとプールの照明に電気を多く使用しているが、R3 年度にバイオマスボイラー 300kW を導入予定で、プールの温水と施設全体の暖房に利用予定。また、太陽光発電設備 54.4kW と蓄電池 32.2kW で照明等の電力消費に利用予定。	
客観的な分析結果	バイオマスボイラーの導入もあることから、小中合わせて 4 つあるプールをそれぞれ維持管理することを止め、B&G 海洋センターに集中的に投資して設備の稼働率を向上し、町民にとってより快適な活用ができるプール事業形態とする可能性が考えられる。 建物・設備はさまざまな改修をして H26 年度には屋根と外壁の改修が行われており、状態は良いので長期利用を想定して、トレーニングルームやミーティングルーム、事務室等の断熱改修を行うことも将来的に検討することを推奨する。	
検討方針	建物の状態は良く、プールとジム機能を備えており、長期利用を想定して定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用する。適切な時期に防災計画を勘案してトレーニングルームやミーティングルーム、事務室等の省エネルギー改修を検討する。	
実行年代	2020 年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

3 産業系施設

大栄歴史文化学習館(青山剛昌ふるさと館)

利用状況	エネルギー使用量は例年通じて大きな変動はなく利用されており、利用者数は年々増加傾向にある。利用者の多くは観光客。 博物館としての機能面で不足している点が多いことから、青山剛昌ふるさと館としての施設機能移転の検討がある。	
客観的な分析結果	町の中心エリアから離れており、町民と観光客の接点はあまり起きない。 施設機能の新設移転を含めた検討が為されていることから別の利用方法を考えた場合、町の中心エリアと分離しているため、町民利用のための公共施設とするには適していない。 コナン通り沿いや由良川沿いの環境を含めたエリア全体の利活用を考え、その延長線上に本施設のあり方を導くことがよいと思われる。	
検討方針	定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、「青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会」の提言を参考として、周辺環境等の状況も踏まえながら、今後は青山剛昌ふるさと館としての施設機能移転を含めたリニューアルを検討する。	
実行年代	2020年代	維持（リニューアル・長寿命化・省エネ改修含む）

4 学校教育系施設

検討方針【共通】…北条小学校・北条中学校・大栄小学校・大栄中学校

北条エリア、大栄エリアの児童・生徒数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。特別教室や体育館など地域に開いて活用できる部分を検討して、積極的に活用する。

北条小学校

利用状況	太陽光発電を設置しており、平均約 24,000kWh/年発電している。 暖房は電気蓄熱式暖房機を用いられており、これによる冬季の電気使用量が非常に多い。電気蓄熱式暖房機はエネルギー効率が低い。	
客観的な分析結果	冬季の電気使用量が非常に大きい、その原因は電気蓄熱式暖房機である。各教室に設置しているエアコンはほとんど冷房にしか使用されていない。省エネルギー化のためにはまず電気蓄熱式暖房機からエアコンに切り替える必要がある。エアコンでは机や椅子の高さが暖かくなならないという考えもあるが、それは建物の断熱性能が低いことが原因なので、早い時期に省エネルギー改修を行うことを推奨する。	
検討方針	建物に目立った劣化は見られないので、長期の継続利用を想定し、早い時期に断熱性能を高めるための省エネルギー改修を行うことを検討する。 今後児童数が減少しクラス数に空きが出るなら、築年数の古い棟の機能は教室棟に移す等の検討により、児童の動線を考慮した効率の良い運営形態をめざす。	
実行年代	2020年代/2040年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

北条中学校

利用状況	<p>電気使用量は体育館1階の北条ふれあい会館と一緒にいるため、北条ふれあい会館の照明とエアコンの設置数から電気使用量を推計し按分した。</p> <p>暖房に灯油式 FF 暖房機を使用しており、冬季にエネルギー使用量は大きく増加する。エアコンを全教室に設置しているが、暖房には使用せず FF 暖房機を使用している。電気使用量は夏季に冷房使用で大きく増加するが、例年の使用量の推移に大きな変動はない。</p> <p>R2 年度に大規模改修の設計、R3 年度に大規模改修の施工を予定。</p>	
客観的な分析結果	<p>R2 年～R3 年度に予定している大規模改修において、長期利用を想定して一般的に修繕改修だけでなく、省エネルギー改修をおこなうことを推奨する。</p> <p>目立った劣化も比較的少ない建物なので、将来の小中統合もしくは中中統合といったあり方を明確にしたうえで、より効率的な省エネルギー化を行うことが好ましい。</p> <p>灯油式 FF 暖房機の使用を中止し、エアコンの使用に切り替えることを推奨する。</p>	
検討方針	<p>建物に目立った劣化は見られないので、長期の継続利用を想定し、R3 年度に実施する修繕改修工事に合わせて屋根断熱の施工と、熱損失の大きい開口部の日射遮蔽対策などの省エネルギー改修を行う。</p>	
実行年代	2020 年代／2040 年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

5 子育て支援施設

検討方針【共通】…北条こども園・由良こども園・大誠こども園・大谷こども園

今後の児童数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。

大谷こども園

利用状況	<p>暖房には灯油式 FF 暖房機を使用しており、冬季にエネルギー使用量が増加する。</p> <p>年度別エネルギー使用量は減少傾向にある。児童数は最も少なく、R2 年度時点で 21 名。</p>	
客観的な分析結果	<p>エネルギー使用量が減少傾向にある原因の一つとして、児童数の減少が影響していると考えられるが空調を行う空間の広さは変わらないので、それだけが原因とは言えない。エネルギー使用量が減っているとはいえ、1 人当たりの使用量は他のこども園と比較して 2 倍近く多く使用している。</p> <p>建物の老朽化と児童数の減少傾向から、2020 年代の閉鎖を検討することを推奨する。</p>	
検討方針	<p>建物の老朽化が進んでおり、今後の児童数や関係者の意向等を考慮し他のこども園と関連した施設のあり方を検討する。</p>	
実行年代	2020 年代早期	再編検討

6 行政系施設

大栄庁舎

利用状況	H29年度庁舎統合。職員の人数が約1.5倍に増えたことにより、夏季の冷房による増加と思われる電気使用量の増加がみられる。夏季も冬季と同程度の電気使用量がある。最も電気使用量が高い8月と最も少ない6月を比較すると2倍近くの差があり、その増加分のほとんどが冷房に使われている可能性が高い。太陽光パネルを設置しており、自家消費を含む実際の電気使用量のH28～R1年度の平均で約11%を太陽光発電で賄っている。	
客観的な分析結果	冬季と同じかそれ以上に電気使用量があり、推測ではあるが、職員の増加により執務室の内部発生熱が大幅に増えたことで、冷房負荷が増えて暖房負荷は減ったことが考えられる。 一般的に冬季の暖房エネルギーを減らすことを1番の目的として断熱改修を行うことが多いが、大栄庁舎では冷房エネルギーを減らすことも同等に重要な目的となるといえる。	
検討方針	<p>【共通】…大栄庁舎・大栄農村環境改善センター</p> <p>両施設の大規模改修に併せて、ホール・会議室の配置や町民向けの貸館機能の再編を検討した上で、省エネルギー改修を実施する。再編は、近隣施設である中央公民館大栄分館とも関連させて検討する。</p> <p>【大栄庁舎】</p> <p>外壁の劣化が進み、開口部も含めた断熱性能が低いため、早期の大規模改修実施を検討する。特に南側外壁のタイルが劣化しており、剥落防止のコーティングはこれまでと同様の対策を行っても数年ごとにやり直しが必要となるため抜本的な改修が求められる。省エネルギー改修として外壁改修時に外張断熱システムを取り入れ、また窓の断熱効果を向上させる日射遮蔽措置を検討する。衛生面の問題として西側階段室の扉は常時閉じた状態とした上で、冬季も換気を常に行いカビの発生を防ぐこととする。</p>	
実行年代	2020年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）